

受付 番号	10	受付 月 日	11月16日 午前・ 午後 2時15分
----------	----	--------------	--

東郷町議会議長 井 俣 憲 治 殿

東郷町議会議員

議席番号 5 番 氏名 加 藤 達 雄 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 諸輪東部開発の現状について	<p>豊田知立線の諸輪地内沿道では、現在工場建設用地の造成風景が散見され早々と操業を始めている事業所も見られる。そこで諸輪東部開発の現状について伺う。</p> <p>(1) 企業誘致の現状及び「東郷町企業立地促進条例」等に基づく支援制度の利用状況について</p> <p>① 先回（H28/9月議会）一般質問以降の新規進出企業数は何社か又「第5次東郷町総合計画」（H23～32年）期間累計と最終目標件数はどうか、更に企業誘致の支援制度運用状況についても併せ伺う。</p> <p>② 町内企業の拡張進出に対する東郷町内企業再投資促進補助金は、受給要件こそ厳しいが周辺市に負けない優遇措置が用意されているのは、それだけ期待の表れと思うが進出状況は。</p> <p>③ 操業開始された事業所において、地元採用は進んでいるか判る範囲で伺う、又「雇用促進推奨奨励金」の交付状況も併せ伺う。</p> <p>(2) 開発区域の面積規模について 申出区域は数カ所に点在しているが、何カ所に及ぶか。又総面積はどれだけか。全て埋まったと仮定し、追加申出区域は認められるか。</p> <p>(3) 県下の4地域別「指定集積業種」について 業種一覧によると「同じ産業」でも地域間の「業種」に若干の違いが有るがその理由はなぜか。又今年7月に省令の一部改正があったと聞くが、その内容と本町への影響は。</p>	担当部長

質問事項	質問要旨	答弁者
2 総合事業関連について	<p>(4) 「東諸輪交差点」区域の造成工事停滞について東郷町の東玄関に位置する「東諸輪交差点」の北側豊田知立線を挟んだ角地左右2ヶ所は造成工事（開発行為）の停滞と、完了後に社屋建設に進まないのはどんな事情か。農地転用までしてこの状態は解せない。都市計画法（29条関連）で、工事進捗の督促などは出来ないものか。</p> <p>本町の第6期東郷町高齢者福祉計画の期間では、少子高齢化の急速な進行により高齢化率も22%を超え、ひとり暮らしや高齢夫婦のみ世帯の増加、要介護認定者数も1,400人となる等、予想通りの高齢化を如実に見て今年度最終年を迎える。</p> <p>現在本町の進める介護予防・日常生活支援総合事業に関連した事柄について伺う。</p>	担当部長
	<p>(1) 総合事業移行後のサービス状況について 本町は、H28/7他市町と比べ早期に移行した、心配された混乱も無かったと思うが現在までの状況について伺う。</p> <p>① H28年「生活支援サポーター」養成講座修了者は基準緩和型訪問サービスに就き活躍されているのか。</p> <p>② 総合事業移行ルートに2通りあると思う、本町のタイプ「生活支援サポーター」養成講座の開催等フォーマル事業を主に移行を進めるルート、地域自主活動グループを立ち上げ「いきいき百歳体操」等普及を図るインフォーマル事業からの導入タイプの市町も見られる。</p> <p>本町の移行から現状までを通して、どの様に考えているのか。</p> <p>(2) 本町の高齢者福祉施策を力強く推し進めている長寿介護課であるが、各機関との連携が必要である。</p> <p>① 第6期アンケートによると高齢者介護事業を主体的に担う「地域包括支援センター」の認知度が思いの外低かった。</p> <p>ア 現時点ではどのようなか。</p> <p>イ 結果を受けどの様に考えているか。</p>	担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>② 今年は民生委員制度創設 100 周年という歴史の重みを感じる記念年である、高齢者に対する本町の民生委員の現状について伺う。</p> <p>(3) 本町の高齢者介護施設の現状について 本町の介護施設の整備状況は充実しているが、介護職員不足、高い離職率は全国的課題を共有する。町内の某「特養」では、ユニットの一部閉鎖を余儀なくされると聞く。</p> <p>① 本町の待機者の状況は。</p> <p>② 待機者の入所の見込みは。</p> <p>③ また、「特養」に於いて全国的に多くの待機者がみえる中、介護職員不足は早急な改善を望みたい。 ア 高齢者ボランティア制度による人材の活用は。 イ 監督する立場としてどのような方策が考えられるか。</p> <p>(4) 介護福祉用具の利用状況について 在宅介護において、受ける側の自立支援、行う側の労働軽減など、介護生活の質の向上をもたらす福祉用具の効果的利用は重要である。ケアマネから適切なアドバイスによって利用されていると思うが、料金トラブルも報道される。本町ではこれらの利用アドバイス等支援体制はどのようにされているか。</p> <p>(5) 認知症高齢者の支援と予防策について 今年から始まった免許更新時の認知症検査は大変有効であると思うが、反面困っている人も多い。その予防策について、老人クラブ等グループ活動団体等への積極的な普及活動は必須と思うがどうか。</p> <p>(6) 本町の地域支え合い活動の活性化について 地域包括ケアシステム実現を目指す中、自治会や老人クラブ加入率の低下している状況で「地域支え合い活動」の普及は難題である。 しかし最近その重要性を認識し時間を掛けても導入すべきと、押し広める自治体が増えている。本町はこの「地域支え合い活動」についてどのように考えているのか。</p>	担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。